

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公表番号】特表2009-541504(P2009-541504A)

【公表日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2009-515730(P2009-515730)

【国際特許分類】

C 08 J 3/20 (2006.01)

C 08 L 67/02 (2006.01)

C 08 L 69/00 (2006.01)

C 08 L 33/14 (2006.01)

【F I】

C 08 J 3/20 C F D Z

C 08 L 67/02

C 08 L 69/00

C 08 L 33/14

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月4日(2010.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) グリシジルエステル耐衝撃性改良剤の溶融物を、パウダーの形態のポリアルキレンテレフタレート(成分Aによる)およびパウダーの形態のポリカーボネート(成分Bによる)からなる群から選択される少なくとも一種類の成分と組み合わせる工程、

(ii) (i)の混合物をポリアルキレンテレフタレート(成分Aによる)およびポリカーボネート(成分Bによる)からなる群から選択される少なくとも一種類の成分および要すれば溶融状態の更なる成分と組み合わせる工程

を包含し、工程(i)における溶融物の温度が90～175である、耐衝撃性改良ポリアルキレンテレフタレート/ポリカーボネート組成物の製造方法。

【請求項2】

(i) グリシジルエステル耐衝撃性改良剤の90～175の溶融物と平均粒度d<sub>50</sub>が600～700μmであるパウダーの形態の成分Aのポリアルキレンテレフタレートとを組み合わせる工程および

(ii) (i)の混合物をポリアルキレンテレフタレート(成分A)およびポリカーボネート(成分B)からなる群から選択される少なくとも一種類の成分および要すれば更なる成分と組み合わせる工程であって、220～330の温度において溶融状態で該成分を共に混連するか、押し出すかまたはロールすることによって行われることを特徴とする工程

を包含する、耐衝撃性改良ポリアルキレンテレフタレート/ポリカーボネート組成物の製造方法であって、該組成物が、

A) ポリアルキレンテレフタレート、4～95重量部、

B) ポリカーボネート、4～95重量部、

C) グリシジルエステル耐衝撃性改良剤、1～30重量部および

D ) 常套の添加剤および加工助剤、0 ~ 20 重量部を含む、製造方法。

【請求項3】

請求項1 ~ 2 のいずれか一項に記載の方法によって得られる成形品および / または半製品。

【請求項4】

高光沢成形品および / または半製品の製造における請求項3に記載の成形品の使用。

【請求項5】

請求項3に記載の成形品を含む高光沢成形品、半製品または自動車。